

# 中期標準化戦略(概要と目的)

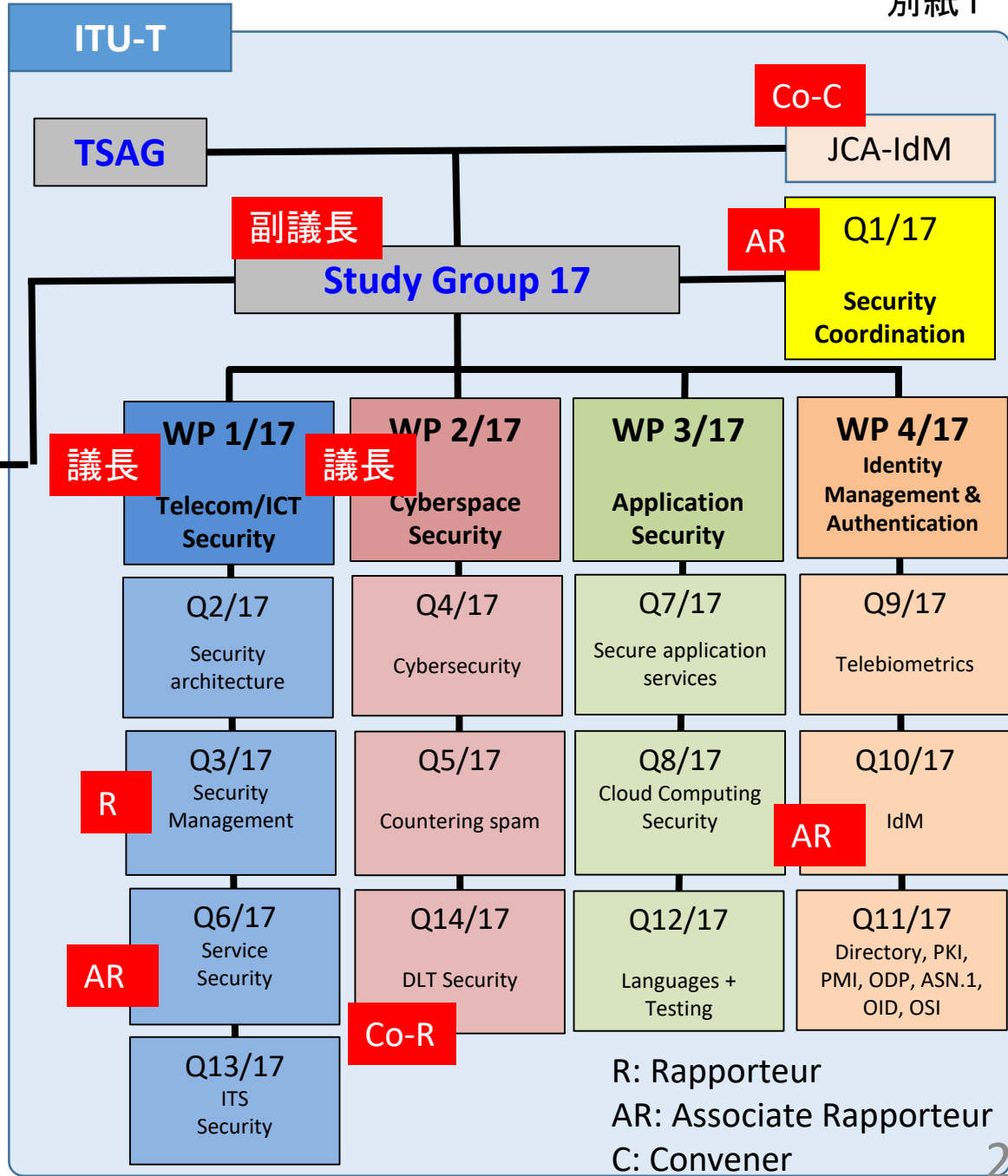
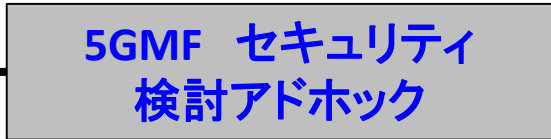
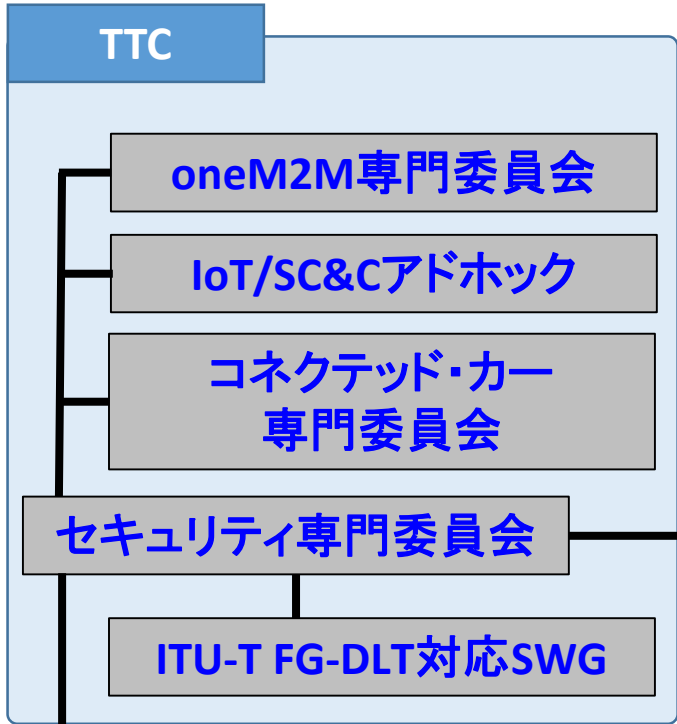
専門委員会・AG名

セキュリティ

1/3

企画戦略委員	清水 聡(日立)	登録委員数	31
正副委員長 リーダー・サブ	委員長:三宅 優(KDDI)、副委員長:荒金 陽助(NTT) (SWG2101リーダー:門林 雄基(NICT/NAIST))	図解	
活動の目的・意義	<p>・目的:電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みにおいて、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行する。また、他国からの提案に対して、日本が不利となる提案が規格化されないように活動する。</p> <p>・意義:電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス、等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用に繋がるとともに日本の技術導入に向けた取り組みを行うことができる。</p>		
活動する上での課題	<p>・SG17の活動の範囲が広がっている。今会期(2017~2020年)において、ITSセキュリティ、DLTセキュリティの課題(Question)が設立され、5Gセキュリティ、AIセキュリティ、ビッグデータセキュリティの議論が開始され、次会期に向けた研究トピックの検討も始まっている。セキュリティの対象範囲が広がるとともに、寄書数、臨時文書数、参加者数が増加しており、限られた参加者で多くの案件への対応が困難になっている。</p> <p>・2020年の東京オリンピック控え、日本国内では政府も含めたサイバーセキュリティ対策の取り組みが進められている。また、2017年10月に、総務省から「IoTセキュリティ総合対策」が公表され、IoT、5G時代に向けたセキュリティ対策の取り組みが進められている。また、Society 5.0に向けた取り組みも進められており、このような日本の取り組みに沿って、必要とされる国際標準化を進めていく必要がある。</p>		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<p>・ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、サイバーセキュリティ(CYBEX)、迷惑メール対策、スマートフォン利用での安全性向上、ITS通信セキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5Gセキュリティ、テレバイオメトリクス、ID管理、DLTセキュリティ、量子鍵配送の活動に対して寄書等により貢献を行う。</p> <p>・CJKセキュリティWGでの活動を通じて、検討中の案件の調整や新規案件の対応について協議を行い、アジア関係諸国と連携した標準化の取り組みを進める。また、5Gセキュリティについては、2018年9月に設立された5GMFのセキュリティ検討AdHoCと連携して進める。</p> <p>・M2M/IoT/ITSに関わるセキュリティにつき関連専門委員会等と連携し、方針や取り組み内容を決定して実行する。</p> <p>・2018年1月に開設したITU-T FG-DLT対応のSWGにて、DLT全般に関する情報共有、意見交換、FG-DLT会合への対応議論を行い、SG17課題14での議論にも反映する。</p>		
国内外標準化団体動向	<p>・ITU-T SG17は、2017~2020年研究会期中に新規課題(課題13:ITS通信セキュリティ、14:DLTセキュリティ)が追加になった。また、FG-DLT、FG-NET2030等の活動に積極的に関与している。さらに、CG-XSS(Correspondence Group on Transformation of Security Studies)を設立して次会期に向けた研究項目の検討を進めている。</p> <p>・2018年12月時点では日本からSG17副議長、WP1議長、WP2議長、課題3、課題14ラポータ、課題1、課題6、課題10のアソシエイトラポータを担当して、各WP、課題の議論をリードしている。また、ITS通信セキュリティ、IoTセキュリティに関しては、日本からの寄書によりワークアイテムが設立されて議論が行われている。</p>		
関連する専門委員会	<p>・oneM2M専門委員会、IoT SC&amp;Cアドホック:oneM2M、及びSG20におけるセキュリティ関連事項に関し情報共有。</p> <p>・マルチメディア応用専門委員会:SG16で議論されているDLT関連事項につき情報共有。</p> <p>・コネクテッド・カー専門委員会:ITSのセキュリティに関するSG17への寄書 提案等に関し連携を図る。</p>		

別紙1 参照



重点取り組み	<p>①OneM2M専門委員会、IoT/SC&amp;CアドホックやIoT/M2Mセキュリティに関する活動を行う団体と連携し、引き続き、この分野で必要とされるセキュリティ、パーソナルデータ保護に関する新規の提案、および、既存ワークアイテムの勧告化への貢献を行う。</p> <p>②コネクテッド・カーのセキュリティに関する国際標準化との連携を促進し、SG17Q13(ITSセキュリティ)の活動活性化に貢献する。また、コネクテッド・カー専門委員会と連携し、Q13への新規ワークアイテム等の提案を行う。</p> <p>③日本が主導的に活動している情報セキュリティマネジメント、サイバーセキュリティ、IoT/ITSセキュリティ、ID管理、DLTIに関する分野で、新規勧告案の提案や作成に貢献する。</p>			
主な活動項目	概況指標	2018年度目標（当初計画時）	2018年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8件(SG17 2018年8月会合)</li> <li>・7件(SG17 2019年1月会合)</li> </ul>	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CJK Information Security WG: 2018年7月会合(韓国)</li> <li>・SG17: 2018年8月会合</li> <li>・CJK Information Security WG: 2019年2月会合(中国)</li> <li>・SG17: 2019年1月会合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CJK Information Security WG(IS WG)7月会合には日本から3名出席。</li> <li>・SG17の8月会合(8/29~9/7)に8名出席。</li> <li>・IS WGの2月会合(中国)に参加予定であったが、会合開催は6月(6/20~21)に延期となった。</li> <li>・SG17の1月会合に8名出席。</li> </ul>	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 ・サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 ・2018年度はTTC標準化必要な案件無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件 ・X.1373(X.itssec-1)については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化検討する。 X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices	0件 ・X.1373についてITU-T SG17で改訂の議論が行われており、動向監視中。	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催(2018/4Q)	・セミナーのテーマを検討中。開催時期は2019/5~2019/6の見込み。	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準類制定状況としてJT-1051(ISO/IEC 27002に基づく電気通信事業者のための情報セキュリティ管理策の実践のための規範)に関して報告。(TTCLレポート2018年4月号)</li> <li>・ITU-T SG17 第3回会合に関して結果報告。(TTCレポート2018年7月号)</li> </ul>	

重点取り組み	<p>①IoT、ITS、DLT、5G、ID認証、情報セキュリティマネジメント等の今後展開が加速すると考えられる新たなサービスに対するセキュリティ対策、パーソナルデータ保護に関する新規ワークアイテムの提案、及び、既存ワークアイテム勧告化への貢献を行う。</p> <p>②次会期に向けた研究項目検討(特に、耐量子コンピュータ暗号、5Gセキュリティ、AIセキュリティ、等)の取り組みにおいて、日本国内の関係者とも調整しながら日本として重要な項目を明確化し、次会期の課題化、検討項目化につなげる。</p> <p>③oneM2M専門委員会、IoT/SC&amp;Cアドホック、コネクテッド・カー専門委員会、5GMFセキュリティ検討アドホック等、他の専門委員会等、および、外部の活動と連携し、IoTセキュリティ、ITSセキュリティ、5Gセキュリティの活動の活性化させ、ITU-Tへの提案につなげる。</p>			
主な活動項目	概況指標	2019年度目標（当初計画時）	2019年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数  外部会合への 参加・連携状況	-  ・CJK Information Security WG: 2019年6月会合(中国) ・SG17: 2019年8月会合 ・CJK Information Security WG: 2020年1月会合(日本) ・SG17: 2020年3月会合		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準  TS/TR/SR	0件 ・サイバーセキュリティ関連で標準化が必要 と考えられる勧告の有無について検討する。  0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	0件 ・X.1373(X.itssec-1)については、関連標準 化組織の動向等を見ながら標準化検討する。 X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices		
④ プロモーション 普及推進	セミナー  記事投稿、講演会	セキュリティに関するセミナー開催(2019/5~6)  TTCLレポート「SG17会合報告」、他		